

お二人に
ご紹介
いただいた楽器



ヤマハチャイム YCH-7118

税込価格:1,001,000円
C52-F69の音域をもつ太管モデル。
大編成のアンサンブルでも
際立つ豊かな基音、従来品よりも
はっきりした音程感が特長



ヤマハチャイム YCH-6118

税込価格:797,500円
C52-F69の音域をもつ細管モデル。
美しくクリアな響きが特長。
YCH-7118に比べ10センチ
演奏ポジションが低いため、
楽に演奏できる



詳細はこちら



菅原さんの
演奏解説動画はこちら

(株)ヤマハ ミュージックジャパン

☎0570-013-808 /
053-411-4744

企画制作=音楽之友社 出版局編
集課/広告課
取材・文=今泉晃一(音楽ライター)
写真=武藤章

り遠鳴りする印象です。
菅原●やはりもともと変化したのは響きですね。チャイムの音色を決めるのは倍音の扱い方です。秋山さんが言うように新しいモデルでは倍音をうまく整理して、より教会の鐘が遠くまで響くような、



軽やかに《剣の舞》のメロディを演奏！ヘッドキャップが厚く、最適なポイントを叩きやすい



秋山さんに『のど自慢』の合格の鐘を鳴らしていただく！「肩から先の重さを使って、気持ちを込めて」がポイント

細かいところでは、ペダルも操作しやすくなりました。幅が広くなったので、右足と左足を踏み替えやすいですし、「少しだけ振動を止める」というハーフペダルの調整もしやすい。メロディや音がたくさん並んでいる譜面を演奏しやすくなりました。

秋山●私の場合、打楽器は「バチで叩く」というよりも、肩から先を全部使って叩くようなイメージです。チャイムの場合には上にあるものを叩くので「腕全体を使う」

秋山●本当にそう思います。21年間鐘を鳴らし続けて思ったのは、やはり一番大事なのは演奏する人の気持ちだということですね。



あきやま・きせい●
1967年東京藝術大学卒。卒業後は打楽器奏者として宝塚歌劇団、帝国劇場オーケストラ、東京交響楽団を経て、藝大フィルハーモニアに25年以上在籍。2002～2023年に『NHKのど自慢』の鐘奏者を務め、著書『あの鐘を鳴らしたのはわたし』(音楽之友社)を8月に出版。



すがはら・あつし●
1970年東京藝術大学卒。38年間、読売日本交響楽団の首席ティンパニ奏者を務めた。「パーカッション・ギャラリー」を主宰。現在、東京音楽大学と昭和音楽大学の客員教授の職にあたる。

それが、新型では細管モデルが追加されているのですが、従来より高さを3センチ抑えた太管モデルに比べても、さらに10センチ低くなっているんです。細管モデルは太管と比べて、明るい音色を持っています。

菅原●木製のマレットも好きですね。明るい音がします。たとえば、片側だけ先端部分に革や布を貼っておくことで、柔らかな音を出せますよ。

菅原●チャイムは、鍵盤打楽器のなかでも飛び抜けて他とは違う魅力を持っていると思います。僕自身、この金属が響く感じがすごく好きなのですが、だからこそ、きれいな音を心がけてほしいと思います。だからって力任せに叩くと音が汚くなるし、楽器も痛めてしまうので、やはり心を込めて演奏を表現してほしいですね。

秋山●ハンマー(マレット、バチ)によっても音色はだいぶ違いますね。私の場合は、ずっと樹脂製のもの、革をぐるぐる巻きにしたものを使っていました。ヤマハのチャイムに付属している合成樹脂製のバチ(YCHM-38P)は、楽器と一緒に開発されたそうで、とてもチャイムらしい音がしますね。

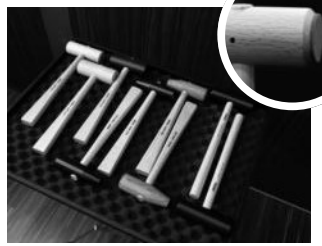
そんな感じの音になったと思います。——使い勝手はいかがですか。
菅原●非常に扱いやすくなりました。ヘッドキャップ(上端部分)の厚みが増したので、両手にバチを持って速い動きをしたときでも、ミストーンをしにくくなりました。それから幹音と派生音(ピアノでいう白鍵と黒鍵)の距離が近づいたので、メロディが演奏しやすくなりました。最近では吹奏楽曲でも鍵盤打楽器のようなパッセージがチャイムにも出てきますから、非常に助かります。

秋山●ハンマー(マレット、バチ)によっても音色はだいぶ違いますね。私の場合は、ずっと樹脂製のもの、革をぐるぐる巻きにしたものを使っていました。ヤマハのチャイムに付属している合成樹脂製のバチ(YCHM-38P)は、楽器と一緒に開発されたそうで、とてもチャイムらしい音がしますね。

というイメージが持ちにくいのですが、動きとしてはやはり使っているんですね。手の先だけで叩いたときは、音色が違いますから。——最後に、読者にメッセージをお願いします。
菅原●チャイムは、鍵盤打楽器のなかでも飛び抜けて他とは違う魅力を持っていると思います。僕自身、この金属が響く感じがすごく好きなのですが、だからこそ、きれいな音を心がけてほしいと思います。だからって力任せに叩くと音が汚くなるし、楽器も痛めてしまうので、やはり心を込めて演奏を表現してほしいですね。



ペダルの幅が広がったため、左右どちらの足でも操作できる。ハーフペダルもできる



重さや材質の異なるヤマハのハンマー。一番右が新モデルに付属する合成樹脂製YCHM-38P。右上:片側にフェルトを貼り付ければ、2種類の音色に対応